

## 川崎防衛協会の講話支援

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 高田 2 陸佐）は、6月14日（日）、川崎防衛協会の定期総会において、「日本の機甲について」と題し、防衛講話を行った。

川崎防衛協会は、日頃から地域の防衛意識の高揚を図り、防衛基盤の育成強化に寄与するとともに、自衛隊の活動にも支援や協力をしているところである。

講話では、日本の戦車の歴史等がわかりやすく紹介され、佐藤金次郎会長ほか14名の会員は、「戦車の性能等について理解を深めることができた」と満足気に語っていた。

溝の口募集案内所は、「今後も、川崎防衛協会の方々のご理解・ご協力をいただきながら、募集広報を始め諸活動を積極的に実施していきたい」としている。



講話する溝の口募集案内所長

## 相模原市ニトリモールで広報活動

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚 2 陸尉）は、6月14日（日）、ニトリモール相模原店（相模原市南区）で、「防災フェア」を行い、広報活動を行った。

ブースでは、国内外の災害派遣活動のパネルや、戦闘糧食の展示を行い、併せて海上自衛官の制服試着も行った。来場した市民からは、「自衛官は、体力がないと務まらないですか?」、「災害派遣は、どの位の期間で交代しますか?」、「戦闘糧食の賞味期間や値段は、どれくらいですか?」、などの質問が聞かれた。また、神奈川地本のキャラクター「はまにゃん」が登場すると多くの子供達が集まり、200名を超える方々と、盛大な記念撮影会となった。

相模原地域事務所は、「今後も、地域のイベントの場を活用して、市民に密着した広報活動を行い、自衛隊の理解を更に深めると共に、自衛官募集の成果に近づきたい」としている。



「はまにゃん」と記念撮影会



展示パネル

## タウンニュースの取材を受ける 湯河原町出身のWAC

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林 1 陸尉）は、6月17日（水）、タウンニュース社の取材を支援した。

箱根・湯河原・真鶴を担当する同社の編集長が、女性自衛官教育隊（朝霞駐屯地）を訪れ、平成27年3月に湯河原町から入隊した女性自衛官候補生に対し、入隊の動機や現在の状況などについての取材を行った。取材後、編集長は、「照れながらも澆刺と取材に応じているのが印象的だった」と語っていた。

小田原地域事務所は、「タウンニュースのような、地元の情報誌に取り上げられた場合の反響は大きく、絶大なPR効果をもたらすであろう」としている。



取材を受ける隊員